

さまざまな業種から参入するライフスタイルホテル市場



まちづくりベンチャー

山形・鶴岡 / ショウナイホテル スイデンテラス
 大手デベロッパーから独立した代表が庄内で立ち上げたベンチャーが企画・運営。設計は建築家 坂茂氏で水田の真ん中に立つ。
 開業：2018年 運営：ヤマガタデザイン



魚卸問屋

富山・氷見 / SAYS FARM
 親会社が魚卸問屋であるワイナリーが運営。魚どころ、富山県氷見の食とワインを楽しむ1日1組限定の一棟貸しの宿。
 開業：2011年 運営：T-MARKS



アパレル企業

東京・渋谷 / hotel koe tokyo
 アパレルブランドkoeが仕掛けるホテルは渋谷公園通り沿いに立地。グローバル旗艦店でベーカリー、アパレルショップを併設。
 開業：2018年 運営：ストライプインターナショナル



出版社

滋賀・大津 / 商店街ホテル 講 大津百町
 商店街に分散する7軒の町家をリノベーションして宿泊棟とし、町全体をホテルに見立てる。雑誌『自遊人』がプロデュース。
 開業：2018年 運営：自遊人



婚礼事業、コンサルティング

奈良 / NIPPONIA HOTEL 奈良 ならまち
 婚礼事業を手掛け、歴史的建造物を活用してきたノウハウをホテルに。建物は元酒蔵で、日本酒発祥の地で酒を味わい尽くす。
 開業：2018年 運営：バリューマネジメントグループ



ソーシャルアパートメントなどの運営会社

福岡 / THE LIVELY 福岡
 ソーシャルアパートメント、コワーキングスペースなどを運営する会社による福岡初のライフスタイルホテル。宴会場も併設。
 開業：2019年7月予定 運営：グローバルエージェンツ



Photo: Satoshi Minagawa

「クラスカ」はデザインだけでなくギャラリー、ドッグトリミングサロンなどライフスタイルを提案する要素を盛り込んだ。

「アートホテルであるアンテルームは招聘するアーティストが友人に紹介するなどして集客につながっています。最近SNSの影響も大きいので、宣伝効果を初めから狙って計画を練りました。二〇年に四〇〇〇万人と政府が目標を掲げるように、インバウンドが増えると思う業種がライフスタイルホテルに注目し、

私たちが開業の相談を受けます。個性を出すホテルであるほど、リピーターをどれだけ呼ぶかが最大の鍵ですから、確固としたコンセプトがないと存続は難しい。日本の飲食店はバターンが多く用意され、食の分野は盤石ですが、ホテルはまだ弱い。ですからワクワクするホテルを国策で増やすべきです。私は大きな産業になりえると思っています」(梶原さん)

人を日本に招いた時に勧められる、個性をもったホテルが見当たらないことも理由です」
 狙いは見事に当たった。建物の機能性を改善し、付加価値をつけて再生する手法が広まって、今では古い建物をリノベーションすることは珍しくなくなっている。
 ちなみに「クラスカ」とは、どう暮らすかというコンセプトを託

した名前。「私自身の暮らしの理想は職・住・遊が近接していること。そうすることで人は地域に愛着をもち、根付くことができる。だから自分の住む街におしゃれな場所があつて、お茶することができ、友人が集まる場があればいいなと考えました。学生時代に旅したイタリアではこの街にも小さいホテルがあり、パールがあつて、皆が集い

夜な夜な飲んでいた。暮らしの中心にあるホテルがクラスカのイメージです」と梶原さん。
 UDSではその後、京都で学習塾の校舎や寮をリノベーションした「ホテルカンラ 京都」「ホテルアンテルーム 京都」などを手掛けた。続けて今年はずで「HAMACHO HOTEL」「MUJI HOTEL GINZA」などをオープンしている。

梶原会長。「アンテルーム」ブランドで那覇と韓国・ソウルに20年開業予定。

